

2025年度

雪氷防災研究講演会

—雪氷防災の新たな取り組み <雪氷防災タイムライン> の策定にむけて—

北海道の根室地方北部は、冬季において暴風雪災害の危険性が極めて高く、これまでも深刻な被害が発生してきた地域です。こうした自然災害から地域社会を守るため、これまで気象予測技術や道路防災対策の分野で多様な研究・取り組みが進められてきました。近年では、地域の自治体や関係機関とも連携し、災害時の行動計画（タイムライン）の策定など実践的な取り組みも広がっています。本講演会では、暴風雪に関する最新の研究成果や対策の動向について紹介するとともに、地域防災の観点からどのように住民の安全を確保していくかについて議論いたします。暴風雪対策の現場に関心をお持ちの皆様にとって、有益な情報交換の場となることを目指しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

お申し込み

参加無料

問い合わせ先に、「代表者氏名、所属、参加人数」をお知らせください。下記、QRコードで申し込みメールが作成できます。リンク先で「メール作成画面はこちら」に進んでください。

事前申し込みをされずにご来場された方は、受付にて必要事項を記載の上ご参加ください。



地吹雪時の道路の様子（北海道標津町）

日時 令和7年 11月18日 火 14:00～16:00
13:30開場

会場 標津町生涯学習センター あすぱる
北海道標津郡標津町南1条西5丁目5番3号

プログラム

● 雪氷防災研究センターが行う雪氷防災研究について

中村一樹 防災科学技術研究所 極端気象災害研究領域 雪氷防災研究センター長

● 暴風雪事象と災害防止・軽減に向けた寒地土木研究所の取り組み

原田裕介 土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム 主任研究員

● 雪氷防災研究センターにおける吹雪研究について

根本征樹 防災科学技術研究所 極端気象災害研究領域 雪氷防災研究センター 雪氷環境実験室長

● 北海道標津町における暴風雪タイムライン策定の取り組み

和田直人 標津町役場 住民生活課危機管理室 室長

